

平成 29 年 10 月 19 日
 高齢施策担当部高齢者支援課

練馬区地域包括支援センター事業評価（平成 28 年度分）の結果について

1 実施概要

(1) 評価日時

- ① 練馬地域包括支援センター 平成 29 年 7 月 25 日（火）13 時半～17 時
- ② 光が丘地域包括支援センター 平成 29 年 7 月 28 日（金）13 時半～17 時
- ③ 石神井地域包括支援センター 平成 29 年 8 月 1 日（火）9 時～12 時半
- ④ 大泉地域包括支援センター 平成 29 年 8 月 23 日（水）13 時半～17 時

(2) 評価者

評価委員 3 名 江幡委員、美玉委員、加藤委員

(3) 評価結果

資料 2 「練馬区地域包括支援センター事業評価結果一覧表（平成 28 年度分）」のとおり

2 評価について

(1) 評価の考え方

- ① 評価については、各センターの質の向上に向け、改善の余地があるポイントを積極的に洗い出すという考え方に基づいて、「適」「不適」の評価を行った。
- ② アンケートを 3 段階評価から 4 段階評価に変更。アンケート結果を評価指標とする項目については、原則「はい」「どちらかと言えばはい」が 7 割以上の場合に「適」とすることとした。

(2) 主な評価

	評価できる点	改善が必要な点
練馬	前回評価を踏まえて、本所・支所間の情報共有や事業のスケジュール管理、職員の業務分担の明確化等が図られていた。	地域の社会資源情報や介護事業所、医療機関に関する情報について、システムを活用した、本所・支所間のさらなる連携の強化が求められる。
光が丘	昨年に引き続き地域ケア会議の運営やケアマネジャーのネットワーク構築支援等において、広範囲にきめ細かい運営を行っている点が評価できる。	職員への業務負荷について、さらなる事務分担の改善が求められる。各業務量のバランスを考慮しながら、事務の効率化も含めた改善を期待したい。
石神井	職員研修が充実している点や前回評価を踏まえマニュアルの見直し、情報共有のための所内ルールづくり、書類のファイリング等の改善が図られていた。	各職員の事務量の配分について改善が必要と思われる。また、本所・支所間の連携について、改善に向けたさらなる取組も求められる。
大泉	職員間のコミュニケーション、役割分担ができており、各業務が円滑に行われていることが書類やヒアリングにて確認できた。	ケアマネ連絡会や事例検討会に出ている圏域介護支援専門員等を把握し、新規の関係者が参加しやすい環境作りを進めてほしい。

3 アンケート調査

(1) 依頼対象

- ① 地域包括支援センター本所職員
- ② 地域包括支援センター支所職員
- ③ 区内居宅介護支援事業者および小規模多機能型居宅介護事業者
- ④ センター（本所）の利用者

(2) 実施期間

- ①、② 平成 29 年 6 月 8 日（木）から平成 29 年 6 月 23 日（金）まで
- ③、④ 平成 29 年 6 月 14 日（水）から平成 29 年 6 月 30 日（金）まで

(3) 回答数

- ① センター本所職員 39 件
- ② センター支所職員 87 件
- ③ 居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護事業所 137 件
- ④ センター本所利用者 108 件

(4) アンケート結果

資料 2 別紙「地域包括支援センター事業評価 アンケート集計結果」のとおり